

令和2年度における四條畷市野外活動センターの管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 青少年育成課

評価対象：令和2年4月1日～令和3年3月31日

評価委員会開催日：令和3年8月26日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人ナック
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを目的とする。
指定管理料	13,200,000円（令和2年度）

2 管理運営の内容

項 目	令和2年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①公平化と利便性を図るため、利用申込みは電話で受け付け、利用料金や利用システムなどの情報を提供し、対象や活動内容を確認した上で、利用者が活動しやすい場所への案内やプログラム援助などを行い、安全で安価に利用いただけるよう、すべての利用者に対して公平・公正な対応に努めた。また、日中に電話での申込み等ができない方には、FAX やメールでの問合せにも対応した。</p> <p>②高齢者、障がい者など、幅広い層の方々に等しく利用の機会を提供するため、対象や活動内容、ニーズに配慮した活動場所の調整、利用のアドバイス、当日の援助に努めた。例えば、利用申請の際に、受付にて説明をしながら申請書を記入いただいたり、条例に定められた割引をこちらから情報提供するなど、利用者へのサービスの徹底を心がけた。また、高齢者や障がい者の団体には、駐車場から近く比較的活動しやすい場所を案内し、特に雨天時などに臨機応変な対応を行った。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①「SORA☆天体観望会」では、指導員が望遠鏡で捉えた天体を観望する一般的なスタイルではなく、指導員の指導のもと、自ら望遠鏡を操作して、天体を捉え観ることができた瞬間の感動を体感することを大事にした『体験型天体観望会』というスタイルでの事業を続けている。</p> <p>②小学生を対象に「宿泊型キャンプ」を実施し、新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、多くの子どもたちに自然体験を楽しんでいただいた。また、各キャンプ事業においては、突然の自然災害に備えた防災教育も兼ねたプログラムとなるよう、意識づけにも努めている。</p> <p>③ファミリーを対象に「ホテル観察会」や「ファミリーキャンプ」などを実施し、家族間での自然体験の共有やコミュニケーションの促進、電気・ガスのない状況下で生活する術などの学習に資するよう取り組んだ。</p> <p>④就学前の幼児を対象とした「森のようちえん」を、職員とアウトドアリーダーだけでなく、子育て経験のある市民をインストラクターとして迎え、幼児の精神面・生活面（トイレ・着替えなど）をサポートする体制で実施し、人気プログラムの一つとして定着した。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①一新した「ホームページ」、「Facebook」「Instagram」において、施設や自主事業について発信をすると共に、四條畷の自然、天体などの情報を頻繁に更新することで、関心を持っていただけるようPRに努めた。</p> <p>②市内施設でのイベントや市内子ども園でのプログラム指導の際に、野外活動センターの事業チラシを配布していただき、利用の促進に努めた。また、近隣施設には、施設のリーフレットや事業案内チラシを設置いただき、一方、期間外宿泊の時期に宿泊を希望された場合、近隣宿泊施設の情報を提供するなど、連携にも努めた。</p>

維持管理状況

(4) 安全確保対策

- ①施設運営における各種マニュアルを備え、それに沿った対応を図るよう常に努めており、事故があった際には、事故等管理体制を基に対応するようにしている。また、自主的に行っている消防訓練の際には、AEDの取扱いについても熟知するよう努めている。
- ②繁忙期の駐車場所として施設向いの臨時駐車場を活用しているが、逢阪生駒口線の交通量がかなり多く、道路を渡る際、特に奈良県側からの見通しが悪い状況にある。そこで、大きな事業の際には交通警備員を雇い、日常では可能な限り職員が誘導するなど、安全の確保に留意している。
- ③管理棟やテントサイトのトイレについて、非常時の呼出しボタンを設置したほか、明るい照明への切替えも行うなど、安心して利用いただけるよう整備した。また、車いすの方が通行しやすいよう、スロープの草枝伐採や通路の清掃にも心がけ、グラウンド入口からスロープ近くまでの大半を舗装修繕することで、利用しやすい環境も整えた。
- ④新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、密にならないような利用受けを行うと共に、活動場所のテーブルやトイレ・水場などの生活空間の定期的な消毒に努め、飛沫シート・消毒液を設置するなど様々な対策を講じた。

(5) 保守点検

- ①職員の出勤時・帰宅時にはサイト内点検を行い、施設内に異常がないか、日々の確認と点検に努めている。破損箇所は、職員の作業で簡易補修又は業者の修繕とし、利用者が安心安全な環境で野外活動を楽しんでいただくための整えに努めた。また、天体機器について、職員の指導のもと、機器に精通した市民ボランティアによるメンテナンスを行い、天体棟にある機器のすべてを、いつでも活用できるよう整えた。
- ②合併浄化槽、自動ドア、消防設備については、保守や点検に係る業務を専門事業者へそれぞれ委託している。

(6) 清掃業務

- ①利用受入れ前に、利用者が快適に活動できるよう、活動場所の清掃は、日々職員で実施している。また、利用者活動中に現場の様子を見に行き、自炊場の水場三角コーナーの生ごみの処理や、トイレの点検なども実施している。
野外の施設であっても、人為的に清潔に保たれ、衛生的なキャンプ場であるよう、また、土日等の多くの方の利用後は、ごみ拾いを行い、キャンプ場内にごみがないよう努めている。
- ②グラウンドやテントサイトなどの雑草は、利用のない日を選び、定期的に職員で草刈りを実施。また、駐車場やスロープ沿いに飛び出した枝葉なども、気づいた時に剪定し、利用者が通行しやすいよう努めている。
- ③秋季から冬季にかけて、落ち葉かきを、可能な限り実施した。

(7) 警備業務

- ①職員帰宅後の夜間警備や火災警備については、保安機械警備として専門事業者へ業務委託している。

(8) 環境への配慮

- ①日頃、エアコンなどの運転は控え、利用者の居ない時は照明を減らすなど、節電に努めている。
- ②利用者にはごみの分別を促すなど、施設として考えられる取組を継続実施。ダンボール、缶類等の資源については、適切な業者を選定して回収を受けるなど、リサイクルに努めている。
なお、令和2年度は、感染防止対策の一環として、特殊な事情がない場合はごみをお持ち帰りいただくよう利用者に案内した。

利用状況	<p>【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月31日まで臨時休館、令和3年1月17日から3月2日まで夜間閉鎖（午後6時から同10時まで）】</p> <p>年間利用者数は、「日帰り」が5,700人、「宿泊」が363人の、合計6,063人であった。</p> <p>前年度と比較し、日帰りは6,898人の減少、宿泊は224人の減少となった。日帰り利用と宿泊利用のどちらも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館等の影響もあり、前年度から大きく減少した。</p>
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、執行額は当初の予算より大きく減少したものの、最終的な収支は58,498円の黒字となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項目	令和2年度の状況
調査の実施内容	<p>期 間：令和2年6月1日～令和3年3月31日</p> <p>対 象：施設利用者</p> <p>調査方法：利用者（家族、団体の代表の方）にアンケートの回答を依頼</p> <p>回答件数：157件</p>
調査の結果	<p>主な質問と回答については、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設に来たのは何回目：「初めて」64件、「2～4回目」78件、「5回目以上」15件 ・施設を何で知った（複数回答あり）：「以前に利用経験あり」76件、「市ホームページ」48件、「市広報誌」4件、「近隣施設配布のチラシ」1件、「その他」28件 ・どういった団体：「家族」107件、「サークル」12件、「青少年団体」10件、「友人」9件、「その他」（会社、福祉施設、支援センター、個人等） ・施設の印象・雰囲気（設備管理や清掃なども）：「良い」133件、「普通」22件、「良くない」0件 ・スタッフの対応：「良い」142件、「普通」12件、「良くない」0件
主な苦情・意見等	<p>テントの屋根に溜まった雨水の排水を求める意見等があった以外は、「よかった」「楽しかった」「ありがとう」といった声がほとんどであった。</p>

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数等が昨年度に比べて大きく減少するなど、厳しい運営を強いられる一年となった。</p> <p>しかしながら、利用者アンケートでは、施設や職員の対応などについて引き続き高評価を得、リピーターにも多くお越しいただいていることがわかったことから、取組の方向性自体は間違っていないと考える。</p> <p>また、コロナ対策について様々行い、工夫をしながら利用者の安全に最大限配慮した運営に努力したことは、高く評価できる。</p> <p>今後は、これまでの取組を継続発展させながら、このコロナ禍の時代であるからこそ、新たな利用者の開拓や人材育成に向けても取り組んでいていただきたい。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るため努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

（参考）評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果